

よかご通信

2009年8月号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨

〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587

Tel&Fax : 0967-62-3730

E-mail: o2farm@aso.ne.jp

O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/reisi

バックナンバーID = o2farm

残暑お見舞い申し上げます。大雨が降ったり、地震があったり、インフルエンザがはやったり…。あちこちで心配なニュースが続いておりますが、皆様はお変わりありませんでしょうか。

7月下旬から「じみ～な」お米の花が咲き（写真上）受粉をしているようです。人間で言うならば、妊娠初期にあたるこの時期は、イネにとっても大事な時期。田んぼに常にたっぷり水がたまっているよう、管理が欠かせません。今年の前半は空梅雨だったのに、後半は大雨が降り、梅雨明けも遅く、いつまでたってもジメジメと雨がふって日が照らないわ、気温があがらないわ、妊娠中のイネにとってはあまり好ましくない気候だったようで、収穫がかなり気がかりです。それでも徐々に稲穂が頭をもたげてきました。穂の中に実（＝コメ）ができた証拠でしょう。台風や日照不足など心配は尽きませんが、相手は自然。なるようにしかありません。今からお天道様にしっかりと顔を出してもらえるよう祈るばかりです。



話が前後しますが、去る7月20日に恒例の「アイガモ田見学ツアー＆バーベキュー大会」が開催されました。今年は遠方からのお客様が3組も参加してくださって大盛況！熊本市内からも大勢来てくださりました。時折激しい雨が降るあいにくの天気でしたが、バーベキュー会場は熱気でむんむん。生ビール、流しソーメン、カキ氷、ポン菓子などもあり、ちょっとしたお祭です。お帰りの際には、組合員がつくっている新鮮な野菜をお土産に。毎度のことながら、食べて頂いている方に直接お会いできることの幸せをしみじみと感じるイベントでした。だって、そんな機会なかなかありませんもの！顔の見えるお付き合いって、本当にいいですよ。お互いに顔を知っていればこそ、生産者も気合いが違います。生産履歴を表示するよりも、顔の見えるつながりの方が大切に思える今日この頃です。皆様も、このイベントに限らず、近くにお越しの際はぜひお寄りください。



7月下旬から、キュウリの出荷がはじまりました。それにしても、よくもまあこんなに毎日実がなるものだと感心してしまいます。おコメの場合の収穫は年に一度。農家は、出来具合をやきもきしながら見守るわけですが、キュウリの収穫は毎日。前の日に収穫しても、また次の日には同じくらいとれるのです！収穫作業は朝6時頃からスタート。私は朝ごはんを作り、

子供たちの身支度などぜんぶ終えてから、選別と箱詰め作業を担当しています。大きさと傷や曲がりの有無によって、6～7つのランクに分けて箱に詰めていきます。その横で、子供たちがワラワラと遊び(彼らいわく、手伝ってくれているのですが)小腹が減るとキュウリをかじる。そんな毎日を過ごしています。

全国的な大雨による被害は、わが家の田んぼにも及びました。上の田んぼの畦が崩れて、我が家の田んぼに土砂が流れ込んだのです。小さな崖崩れの原因は無数のモグラの穴。残念ですが、その部分は減収となってしまいました。。。しかし大自然相手に逆にこの程度ですんでよかった、と思うほかありません。上の田んぼの持ち主からお見舞いとビールが届きました。ビールの消費が多い我が家としては、それもまたよし!? さっそくお盆にいただきました。



8月に入ってから、我が家にベビーシッターが来ています。なんとドイツから! 私たちの元ルームメイトで、3週間の休暇を使って日本に来てくれました。子供たちにも大人気のダニエラさん。キュウリの選別中は、彼女が子供たちを遊ばせてくれます。料理好きの彼女は、日本食もばっちり。頼んでおけばキュウリの作業をしている間にお昼ご飯ができていくことも。なんとという贅沢! いっそのまま近くに嫁いで日本に永住してくれるといいのですが...。お見合い用に、彼女の写真を載せておきます(笑)。コートの上に座っているのは従兄弟の子。みんな丸

坊主で、4人兄弟のようです。

さあ来月はいよいよ新米です! 18日までに刈り取って乾燥と籾摺りが間に合えば、ということですが、これまでのところ、毎年9月には新米をお届けすることができていますので、きっと今年も大丈夫だと思います...

夏はお米に虫がつきやすい時期。おあしす米は、農薬はもちろん、保管中の殺虫剤なども使っていませんので、虫が出ないと言うお約束ができません。黒い虫が出てきたら、多分「コクゾウムシ」。白ければ「ノシメマダラメイガ」の幼虫でしょう。量販店などで買うお米には見ることがない虫で、知らない方もいらっしゃるかと思います。かくいう私も、農業をはじめたから初めてお目にかかりました。低温で保管している間は大丈夫なのですが、20以上にあると発生する可能性が高くなります。さらに27を越えると大繁殖します。お米の中からごっそり出てくるとびっくりしますが、噛むわけでも刺すわけでも臭いわけでもない。悪いヤツではありません。いつもより水を多めに洗って頂くと浮いてきますし、お米をざるや新聞紙などに広げ、陰干ししていただくと、光を嫌がり半日もすれば逃げていきます。それでは皆さま、どうぞお元気で残りの夏をお楽しみ下さい。

